

指導分野・指導方針・指定課題

教 員 名	明星 智美 講師
指 導 分 野 (テーマ)	(1)セーフティネットとしての公的扶助制度 (2)低所得・生活困窮者に対する相談支援 (3)社会福祉実践における権利擁護
指 導 方 針	(1)みなさんへのメッセージ 私自身は、低所得者に対する支援や貧困の創出・再生産(連鎖)のメカニズムを明らかにすることを研究テーマの一つとしています。論文指導では、制度・政策の研究を志向する方を優先します。また、自身の社会福祉実践を論文にまとめて普遍化することで他の実践に活用することを志向する方も歓迎します。資料収集、調査は自分で行うことを原則としますが、その方法はアドバイスします。 なお、1年間で論文を仕上げるためには、論文作成に関する基礎的な力が必要です。初めて論文を書くという方は、スクーリング科目『論文・レポート作成基礎Ⅰ・Ⅱ』の受講を強くお勧めします。 社会福祉士・精神保健福祉士等の国家試験受験を予定している方については、下記指導日程を個別に調整し、スケジュール管理を含めて論文完成へのモチベーション維持をサポートします。 (2)指導日程 <詳細は、個別に調整します> ・4～5月:研究計画の詳細決定 先行文献の再調査を含めて、研究の目的、方法等を検討します(対面、メールによる) ・6～7月:先行研究論文の学習、データ収集作業 ・7～8月:論文の章立て ・8～10月:論文執筆 ・10月上旬:中間報告とその検討(対面、メールによる) ・12月下旬:12月末完成を目標に執筆 論文最終草稿(12月末時点での論文現物の提出)とその検討(対面、Zoom、メールによる) ・1月下旬:論文提出と最終検討(メールによる) ・1月 31 日:最終稿提出(その後提出までのブラッシュアップ) (3)指導のコミュニケーション手段 原則として月1回ペースでメールでの進捗報告を受けて、対面(Zoom等を含む)またはメールで議論を行います。取り組みの節目では、できる限り対面(または Zoom)とします。また、複数の履修者がいる場合は、メーリングリストの活用などにより、履修者相互に学びあえる場を設定することも考えています。対面の場合は、美浜キャンパスまたは名古屋キャンパスでの実施です。
指 定 課 題	研究計画書【共通課題】の7でとりあげた「参考文献」のうち、ご自身の研究論文との関連で最も関心をもった2点を示し、その概要と関心をもった理由を書いてください。 【形式】A4用紙 文献1点につき1500字以上 タイトルおよびとりあげた著書・論文名を明記すること